

いじめ防止対策 推進法(一部)!!

(いじめの禁止)

第四条 児童等は、いじめを行ってはならない。

(いじめに対する措置)

第二十三条 学校の教職員、地方公共団体の職員その他の児童等からの相談に応じる者及び児童等の保護者は、児童等からいじめに係る相談を受けた場合において、いじめの事実があると思われるときは、いじめを受けたと思われる児童等が在籍する学校への通報その他の適切な措置をとるものとする。

2..., 3..., 4..., 5...

6 学校はいじめ

学校は、いかしけが犯罪行為として取り扱われるべきものであると認めるときは所轄警察署と連携してこれに対処するものとし、当該学校に在籍する児童等の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるおそれがあるときは直ちに所轄警察署に通報し、適切に、援助を求めなければならない。

第三十五条まで
あります。全文は、
ネット等にて参照
できます。



全体朝会講話!!

—人の心の痛みが分かる人に—

去る十七日(火)全体朝会にて、校長先生の講話がありました。その内容の一部をご紹介します。

新しい学年に進級・進学し、新しい仲間とのつながりも出来、学級にも慣れてきた頃ではないかと思います。私が赴任してからも二か月あまりが過ぎました。この二か月あまり、神原中学校の生徒と共に過ごしての感想をお話します。

まず、とても元気であるということ。校長室に座つていると、大きな声がいろんな所から聞こえます。心も体も元気であるということは人が生きていく上でとても大事な

二つ目にあいさつが上手なこと。きちんと礼をして大きな声であいさつを交わしてくれる人が多く、とても気持ちがいいです。特に部活動をしているときにそばを通ると、練習中であってもそれを中断して全員が必ず一斉にあいさつしてくれます。とても美しい光景です。あいさつは人が人らしく、誇り高く生きていく上で大切なものです。挨拶が出来る人は堂々としています。かつこいいです。

三つ目、授業での発表が上手だということ。自分の考えを言葉にだして言うことができる。わかること、わかったこと、考えたこと、わからないことを先生とのやり取りのなかでしつかり表現している生徒が多い。すごいなあと思います。そして多くの生徒が真剣に授業に臨んでおり、とても頼もししい。そのためでしよう、三年生は全国学力学習状況調査でとてもよい成績を修めることが出来ましたね。

左下より
つ
このような神中生としての力を夏季大会でも発揮してくれました。どの部活も最後まであきらめずに試合に臨んでいました。特に、男子バスケット部のあの粘りのある試合、あれこそが神原中の底力だと感じました。私は神原中学校の校長になつてよかつたなと思いました。みなさんは、私の誇りになりました。

神原中学校の教育目標は「豊かな人間性と、未来を創造する生徒」で「自己を大切にし、自分の良さを発揮する生徒」です。さらに五つの具体目標が続きます
が今日はこの二つについてお話しします。
昨日、今は高校二年生で皆さんの先輩二人に会いました。そのうちの一人の先

昨日、今は高校一年生で皆さんの先輩二人に会いました。そのうちの一人の先輩は、何と夏休みからフランスに留学することが決まっているそうです。自分の人間性を磨き、未来をしつかり創造している先輩だなと思いました。みなさんもその先輩達のように自分の未来を豊かに創造出来る生徒になれると思います。神原中学校でしっかりと学び仲間と交わり、豊かな人間性を築き、明るい未来を創造出来るようになつて欲しいと思います。

また、自他を大切にし、自分の良さを發揮する生徒にも育つてほしいと思います。そのためには、神原中学校にいじめがあつてはなりません。いじめは人を人

場になつてからだ。そのとき、その友人を助けなかつた罰が自分にあたつたように感じた。自分のこの経験から、いじめられた人はそれを決して忘れないし、いじめた人はその十字架を背負つていかねばならないという重い現実にあたる。

この話は、いじめる人も、いじめられる人も、いじめを見て見ぬふりをする人もみんな心に傷を負うということです。もしこの中でいじめられていると感じてゐる生徒がいたとしたら、皆さんは、このようなつらい経験をすることはあります。必ず誰かに相談してください。「いじめ」や「仲間はずれ」という、つらいことに出会つた時には、絶対一人で悩ま

このような神中生としての力を夏季大会でも発揮してくれました。どの部活も最後まであきらめずに試合に臨んでいました。特に、男子バスケット部のあの粘りのある試合、あれこそが神原中の底力だと感じました。私は神原中学校の校長になつてよかつたなと思いました。みんなさんは、私の誇りになりました。

神原中学校の教育目標は「豊かな人間性と、未来を創造する生徒」で「自己を大切にし、自分の良さを発揮する生徒」です。さらに五つの具体目標が続きます

神中しーぶん

平成26年
6月 18日

神原中
不定期11号

ここで、一つ詩を読みたいと思います。



「ねえ、きみ」

ねえ、きみ、お母さんを知ってるかい。
きみが生まれたとき、病んだとき
眠らずじっとそばにいて
心を痛めていたのがお母さんだ。



ねえ、きみ、お父さんを知ってるかい。
夜中どんなに遅く帰っても
きみの寝顔をそっとみて
黙って床についたのがお父さんだ。



ねえ、きみ、友だちを知ってるかい。
平気でいつも楽しそうだけれど
誰もが一つ以上の悩みをかかえ
こらえながら頑張っているのが友だちだ。

ねえ、きみ、自分を知ってるかい。
たとえ勉強やスポーツが苦手でも
必ず二つ、三つは自慢できるものがある。
それに気づいていないのが自分なんだ。

ねえ、きみ、生きてるって知ってるかい。
きみの中にある、その自慢できるものを
どれでもいいから輝かせてごらん。
それがきみにとって生きることなんだ。

ねえ、きみ、生命って知ってるかい。
きみがもし死んだら、親も友だちも泣く。
かけがえのないタカラモノだから、
生きられるだけ生きてこそ生命なんだ。

ねえ、きみ、未来って知ってるかい。
どうなるかわからないこれからを
きみの知恵と力できりひらく
そのわくわくする冒険が未来なんだよ。

(坂本 光男)



「自他を大切にし、自分の良さを發揮する豊かな人間性と、未来を創造する生徒」
この目標に向かって神原中の全生徒が明るく、元気よく前進してほしいと思います。
以上今日のお話を終わります。